

お客様各位

Ref: FESN-2104  
2021年3月末日  
富士電機株式会社

## 富士電機 船舶用排ガス浄化システム(EGCS)

### SK7 校正用ポンベの不具合と対策について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、船舶用排ガス浄化システム(EGCS)をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

先日、弊社 EGCS に採用している排ガス分析計 SK-7 の校正用ガスポンベにて不具合が発生しましたので、ご報告いたします。

#### 不具合内容

SK-7 は、ガス濃度を正確に測定するために、3 カ月に 1 回、SO<sub>2</sub> ガス及び CO<sub>2</sub> ガスポンベを使用して校正を行います。

この度、当該ガスポンベから分析計までの配管システムの継手に不具合が認められ、校正を行った後、ガスポンベの元栓及びレギュレータのバルブが開状態になっていることで、継手部分からガスが漏洩することが発覚いたしました。

#### 原因

継手の機密が不十分なため、レギュレータのバルブを閉め忘れるとガス漏れのリスクが生じます。

#### 措置

(1) ガス漏れ対策を施したレギュレータを支給致します。

別紙要領「SK7 regulator Exchange procedure」に倣って、レギュレータ交換をお願い致します。

(2) 校正時以外はガスポンベの元栓及びレギュレータのバルブを常時閉としてください。

ガスポンベの元栓及びレギュレータのバルブを閉めれば、現状のレギュレータでも漏洩することはございません。

[【SK7 regulator Exchange procedure ダウンロード】](#)

敬具